

あじさい 130号

第42回育成会運動会開催!!



9月18日(月祝)、第42回長崎市育成会運動会が県立体育館メインアリーナで開催され、本人、家族、来賓、ボランティア、職員など総勢493名が参加しました。

事業所・会員の仮装リレーでは会員チームの「四太郎」が優勝!!



紅組



白組



恒例の紅白対抗応援合戦では、両チームとも軽快な音楽に合わせ精一杯アピールしました。結果は審査員全員一致で、タオルを振り回しながら躍動感あふれる応援を繰り広げた紅組の勝利!

どんな競技も全力疾走!

もくじ

- 第42回運動会報告
- 定例会発「知っておいてもらいたいこと」
- 障害に関する理解を深めよう
- 育成会ing
- 九州大会・全国大会報告
- きらり
- お知らせ



優勝のトロフィーを受け取り、高く掲げる白組代表堤さんと万歳をして喜ぶ白組のみなさん。

第42回育成会運動会開催！

9月18日(祝)長崎県立総合体育館にて第42回育成会運動会が開催され、利用者・家族・職員、そして、ボランティア(純心大学・長崎女子短期大学・長崎大学、NEC・ライオンズクラブ・一般)の皆さんも含め、総勢493名が参加し18競技が繰り広げられました。リニューアルした借り者競争では、今年も来賓の皆様、『眉毛の太い人』や『レイを掛けた人』に扮装して一緒に走っていただきました。4年ぶりに復活した「つなひき」はそれぞれのチームが一丸となり会場からも大きな声援が飛んでいました。参加者が増えた会員チームは、「仮装リレー」、「〇を探せ!」、「運命ゲーム」の3種目で勝利し、大いに盛り上がっていました。前半から優勢だった白組が、「応援合戦」と「紅白リレー」で紅組に勝利を譲ったものの、後半も点数を重ねて総合優勝を勝ち取りました。来年もたくさんの皆さんに楽しんでいただけるように企画していきたいと思っておりますので、初めての方も奮ってご参加ください。



あじさいの家:早すぎたハロウィン

さんらいず:ドラえもん

ワークあじさい:私の好きなキャラクタ

「事業所対抗仮装リレー」オールスター勢ぞろい

陽香里工房:陽香里の一日

会員:四太郎

夢工房みどり:メイちゃんと愉快的仲間たち



保護者参加競技「〇を探せ!」は会員チームが全員みごとに〇を引き当て優勝!



復活競技の「つなひき」1回戦と2回戦は紅組勝利、3回戦は白組勝利!!



「借り者競争」では来賓のみなさんにもご協力いただいています。

「玉入れ」の3回戦は保護者対決!紅白、一歩も譲らぬ激戦で、数えるのが大変なほど大量のお手玉が入りました。



「あなたもピカソ」の今年の新作『ぐでたま』は夢工房みどりが制作

定例会発 ~知っておいてもらいたいこと~

長崎市育成会では会員の「情報交換」「研修」「意見発信」「親睦」の場として、毎月1回定例会を開催しています。ホームページの啓発ブログではその様子を毎月報告していますので、ぜひご覧ください。

津久井やまゆり園の凄惨な事件から1年が過ぎました。犯人の抱いていた障害者観は偏見に満ちたものでしたが、私たちが子育てをする中でも同様に多くの方が多少の偏見や無理解に傷ついた経験があると思います。障害のある人たちが安心して地域で暮らしていくために、私たちはどのようにして理解者を増やしていけばよいのでしょうか？8月は「親として知っておいてもらいたいこと」、9月は「家族に知っておいてもらいたいこと」というテーマで話をしましたので、その様子をご紹介します。

『親として知っておいてもらいたいこと』

「じろじろ見られた。」「親のしつけが悪いと言われた。」「笑われた。」「成人したわが子が通勤途中に小学生にからかわれた。」「バスで迷惑だと言われた。」など、嫌な思いをした話はたくさんありました。それに対し、「学校の役員を何年も努めた。」「小学校6年間、子供の誕生会を開き、クラスの子を呼んだ。」「自分(親)が近所の人に好かれるよう気を配った。」と、わが子を知ってもらうため、受け入れてもらうために努力された話もありました。その積み重ねで、クラスの子や近所の人々が自然とわが子を受け入れ理解者となってくれたと実感された方も多くいらっしゃったようです。障害のことを知らないとどう接していいのも分かりません。まずは身近な人にわが子を理解してもらうことから始め、わが子への理解を通じて障害のある人への理解を深めていくことが個人でできる身近な啓発ではないでしょうか。

『家族に知っておいてもらいたいこと』

一緒に生活していても、家族の全てを把握できないように、家族の障害に対する理解もまちまちです。母親は受診や療育などに付き添うことが多いため、障害についての理解は深まります。そのせいか「余計な手出しや声掛けで子どもの感情を乱す。」「いつまでも子ども扱いする。」など障害のある子に対する家族(特に父親)の対応にいら立ちを覚えるお母様の話が多く聞かれました。また、年金や障害福祉サービスの契約などの申請関係も母親が全てやっているお宅がほとんどでした。すべてコピーを取っておき、もしもの時にはそれを見て自分以外の人でもできるように備えているという方もおられました。

手続き関係の詳細を家族に事細かに説明するのは大変ですが、今は担当の相談支援専門員が本人の福祉サービスの全てを把握しているので、まずは契約している相談支援事業所の連絡先をわかりやすいところを書いておく、何かあったら育成会に電話する、福祉サービスに関する書類(特に受給者証)の保管場所を知らせておくなど最小限必要なことだけでも共有できれば少し安心できるのではないのでしょうか。

知的・発達障害に関する理解を広めよう！

合理的配慮の重要性は徐々に広がりつつあるものの、知的・発達障害のある人は外見上で障害特性が分かりにくいこともあり、地域における理解が十分に進んでいるとはいいがたく、必要な配慮も得られにくい状況にあります。こうした背景もあり、近年注目されているのが、地域における知的・発達障害への理解を広めるための啓発活動、いわゆる「キャラバン隊」と呼ばれる活動で、全国の育成会でも積極的に取り組むところが増えています。そこで、障害の有無に関わらず、お互いの人格や個性を尊重してともに生きることができる地域を目指すことを目標に広島市内を中心に活躍されている、「広島県手をつなぐ育成会・ひろしまあび隊」のみなさんをお招きして、活動の様子をご紹介します。障害特性を伝える座学だけではなく、知的・発達障害の疑似体験を盛り込むなど、多面的に理解を深める工夫がされています。また、「あび・あび」としか言えない、架空の国を想定し、お互いの思いが伝わらない体験をすることで、相手を思いやる心の大切さを体験してもらうなど、分かりやすい疑似体験を通して、小学生や幼稚園児にも障害について理解してもらう活動にも取り組んでおられます。全国ではさらに発展して、障害特性に応じた配慮（合理的配慮）について考えてもらう内容で展開していく動きもあり、キャラバン隊活動は、全国大会で特別分科会が設けられるほど、社会に向けての啓発として大いに注目されています。



この機会に、広島「あび隊」のみなさんの活動を知って、長崎にも広めていきましょう！

この研修会にはどなたでもご参加できます。ご希望の方はハートセンター事務局にお申し込みください。

「体験してみよう、知的障害 理解してもらおう、知的障害」

平成11月23日(木・祝)13:00~15:30

長崎県立総合体育館（長崎市油木町7-1）大研修室

参加申し込み ハートセンター事務局

☎ 847-1290

* 締め切り 11月10日(金)

家族支援ワークショップ第2弾

長崎市育成会ではファシリテーターで構成された家族支援部会が企画して今年度3回シリーズのワークショップを開催しています。7月に行われた家族支援ワークショップは「家族にも支援は必要です」というテーマで親と子の関係について考えてみました。1回目のワークショップでは「新しい発見があった。」「気持ちが楽になった。」などの感想をいただきました。第2弾は未就学児のご家族を対象に「心に栄養を注ぎましょう」というテーマで「障害のある子を持つ親に起こりがちな出来事とは?」「障害と夫婦関係は?」「親が自分のためにできることとは?」という内容で、スライドを見たり、ワークをしながら考えてみましょう。後半は、「うちの子に合う学校選び」というテーマでおしゃべりをしながら就学準備について考えてみませんか?一人で考えこまずに共有することでわかることがきっとあるはずです。未就学児の保護者で、障害のあるお子さんの子育てにお悩みの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。



参加申し込み・お問い合わせ

長崎市手をつなぐ育成会タイムケア事務局 ☎ 095-893-6096

* 締め切り 平成29年10月6日(金)



育成会ing

育成会の本部が移転します!

長崎市手をつなぐ育成会の本部は現在三京町の「ワークあじさい」内にありますが、来春をめぐりに本部が移転することになりました。移転先は長崎市大橋町の北消防署近くのビルです。移転を機に、茂里町にある相談支援事業所、育成会ヘルパーステーション、ケアプランセンター、グループホーム事務所、タイムケア事務局、啓発事業、岩川町のさんらいず就労移行事業も同じビルに移転することになります。

今回の移転の目的は、長崎市中心部に事業所を集約し、業務を効率化することです。事業所が集約されることで、各事業の統括がしやすくなり、活性化も図れるようになります。また、同ビルの2階には夢工房みどりも移転することになり、これまでバスが横付けできず、階段の上り下りで不便を感じていたみなさんには安心していただけると思います。



合同ガイダンスに参加!

今年も鶴南特別支援学校にて福祉サービス事業所説明会及び合同ガイダンスが開催され、長崎市育成会も参加してきました。これは長崎市、長与町、時津町地域の福祉サービス事業所の内容を知り、在学中のサービス利用や卒業後の進路の選択肢の幅を広げるために毎年行われているものです。

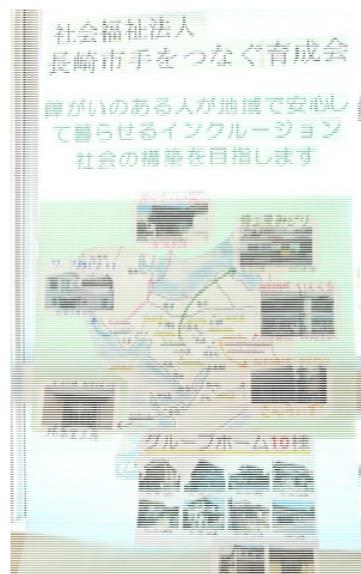
県内のたくさんの福祉サービスの事業所が集まり、割り当てられた教室で訪れた保護者や生徒、先生

たちに事業の説明や情報の提供を行います。すべての事業所の話聞いていく方、実習先に考えている事業所の説明をピンポイントで聞く方、リーフレットを集めて今後の参考にする方など様々です。

育成会が親の会だと知らない方も多くおられ、立ち寄られた保護者や先生方に、障害福祉サービスの情報だけでなく、家族支援や本人活動、会員活動など、親の会ならではの活動を知っていただくことの必要性も強く感じました。



事業所の作業内容や送迎ルート、余暇活動の内容など、みなさん熱心に質問されていました。



九州地区育成会佐賀県大会が開催されました

8月26日、27日（土日）の2日間に渡り「障害のあるなしにかかわらず、お互いに人格と個性を尊重し合いながら、住み慣れた地域で笑顔で暮らせる共生社会の実現」を主題に、第57回九州地区手をつなぐ育成会佐賀県大会が開催され、長崎市より2台のマイクロバスを使って本人20名を含む51名が参加しました。第4分科会（本人分科会）「私たちは伝えたい」では長崎県の代表として藤田

堂々と発表された藤田匠美さん



匠美さんが発表されました。昨年、長崎大会が開催された影響か、多くの本人さんがこの分科会に参加さ

れ、各県の代表10名の発表を聴いたほか、グループに分かれてのフリートークやゲームで、他県の参加者と交流しながら楽しい時間を過ごされました。観光コースはヤ

クルト工場見学と宇宙科学館の2コースに分かれて佐賀観光を楽しまれました。2日目も本人向けにはレクリエーションが企画され、それぞれに合わせて大会参加ができたようです。

全国育成会連合会札幌大会が開催されました

9月23日、24日（土日）の2日間に渡り、「今こそ創ろう！自信と誇りをもって生きる社会を共に一」をスローガンに掲げ、第4回全国手をつなぐ育成会連合会札幌大会が開催されました。長崎市より本人6名を含む15名が参加しました。初日は昼食をはさんで5時間半にも及ぶ熱気あふれる分科会が行われました。参加された本人さんは全員観光コースに参加され、工場見学や円山動物園、ジンギスカンの昼食で思い出作りをされたようです。2日目の式典では感謝状や表彰状の贈呈があり、谷理事長が大会会長賞を受けられました。その後は前宮城県知事で神奈川大学特別招聘教授の佐野史郎氏が「地域・人権・ふつうの生活」というテーマで講演されました。大会前日に札幌入りし、到着後は観光バスで小樽へ行き、運河で写真を撮ったり、お土産を見たり、おいしいものを食べて楽しみました。



谷理事長はこれまでの功績を認められ北海道札幌大会会長表彰を受けられました。おめでとうございます！

8/26（土）

- ・ウェルカムコンサート
- ・式典
- ・分科会
- ①「育つ」
- ②「暮らす」
- ③「働く」
- ・本人分科会
- ④「私たちは伝えたい」
- ⑤観光コース

8/27（日）

- ・中央情勢報告
- ・記念講演
- ・本人レクリエーション

分科会

- ①「発達・教育」②「働く」
- ③「通う」④「暮らす」
- ⑤「高齢」⑥「権利擁護」

特別分科会

「理解啓発キャラバン隊」

本人大会分科会

- ①「恋愛結婚について」
- ②「高齢障害者について」
- ③「差別・虐待のない社会をつくろう」
- ④「仕事について」
- ⑤「私たちの人生といのちについて考えよう」
- ①～⑤午後から全体会
- ⑥思い出観光

特別企画チャレンジド

身体・リズム・芸術表現

☆ きらり ☆

8月には九州地区手をつなぐ育成会佐賀県大会、9月には全国手をつなぐ育成会連合会北海道札幌大会が開催されました。昨年、長崎で九州大会が開催され、大勢の本人さんが参加されたこともあり、大会を身近に感じていただけたのか、また隣県という地の利もあったのか、今年の佐賀県大会にはたくさんの方が積極的に参加してくださいました。また、全国大会は北海道という遠い地での開催ではありましたが、毎年全国大会で観光コースに参加することを楽しみにされている常連の方を含め6名が参加されました。今回のきらりは、それぞれの大会に参加されたみなさんの感想をお聞きました。

ヤクルト工場と交流会がとても楽しかった。

内藤和幸

2日目のレクレーション「ディスプレイゲッター」がとてもおもしろかった。 永山幸世

科学館で乗ったりニアモーターカーが楽しかった。居酒屋の夕飯もおいしかった。

木下将洋

佐賀県大会参加の長崎市のみなさん



佐賀に行けてうれしかった。でも忘れ物をしたのが反省点。 山崎良

グループに分かれていろんな話をした。交流会ではビールを飲み過ぎた。 高比良政喜

友だちがいっぱいできて、うれしかった。 山本カズ子

コンサートを聴いたり、本人部会や交流会でよその県の人と話せてよい思い出になった。 村岡麻美

話すのは苦手なので聞いていたが、グループに分かれて話をするのは楽しかった。また参加したい。一人暮らしいいな～。 瀬戸敦子

いろんな勉強になった。友だちもたくさんできて、交流会も楽しかった。 山元直喜



札幌大会参加の長崎県のみなさん

疲れたけど、楽しかった。 長島僚平



北海道はとても広くて緑も多く、空気もきれいで食べ物もおいしい。とても良いところだった。 濱崎広満

交流会のよさこいがかっこよかった。旭山動物園も面白かった。 中島竜之介

次回の九州大会は北九州、全国大会は京都で開催されます。みなさんもたくさんの仲間と交流してみませんか？

2日目は雨が降ったが、雨に濡れた時計台もきれいでよかった。 吉井大貴

おしらせ

習字



日時: 第4土曜日

時間: 午後1時~

場所: ハートセンター社会適応訓練室

会費: 1回 500円

社会福祉法人

長崎市手をつなぐ育成会 広報部

長崎市茂里町2-41

長崎障害福祉センター内

TEL&FAX : 095-847-1290

E-mail tewotunagu@hi.enjoy.ne.jp

フラワーアレンジメント

日時: 第2・第4土曜日 午前10:30~

場所: ハートセンター5F 社会適応訓練室 会費: 1回1300円



お楽しみ倶楽部

日時: 10月22日(日) 内容: 浦上川沿い散策 200円(飲み物代) 13:00~15:00

日時: 11月19日(日) 内容: バイクランチ 1300円(実費) 11:00~13:00

集合: ハートセンター1Fロビー

※今年度より人数把握のためにお申し込みをお願いします。

お申込み、お問い合わせはハートセンター事務局まで。

ハートセンター事務局 ☎847-1290

お楽しみ倶楽部会費についてのお知らせ!

今年度から年会費はいただきず、毎回実費をご負担いただくような方法に変更させていただきます。ご面倒をおかけしますがご理解、ご協力よろしくお祈いします。

会員定例会

10月の定例会 21日(土) 10:00~12:00

「あなたとわが子のライフプラン

~5年後、10年後のあなたとわが子は?~」

11月の定例会 15日(水) 13:00~15:00

お申し込みはタイムケア事務局 ☎893-6096

(茂里町電停前ローソン2F)

ボウリング大会の会場が変わりました。バスの送迎もありませんのでご注意ください。

会員親睦ボウリング大会開催(新春ボウリング大会の時期を変更しました)

日にち 11月5日(日曜日) 現地10:00集合、10:30プレイ開始

場所 大橋町ラッキーボウル

ハートセンター集合希望の方は9:30までに集合(電車代もご用意ください。)

参加費 900円(ボウリング2ゲーム・シューズ代)

申し込み センター事務局☎847-1290 締め切り10月25日(水)

※申し込みは必ずお願いします。

お父さん、お母さんの参加も大歓迎!